

平成24年度  
建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成24年度建設局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・3
- 3 事務事業の見直し等(主なもの)・・・・・・・・・・・・・15

# 1 平成24年度建設局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成24年度建設局予算要求総括表

### 【一般会計】

平成24年度要求総額 39,069,956千円  
 (平成23年度当初予算額 37,316,942千円)  
 前年度比 4.7%

主な事業 (単位：千円)

事業名	平成24年度 予算要求額 A	平成23年度 当初予算額 B	増減 A - B
道路・街路事業	29,743,861	28,429,176	1,314,685
河川事業	3,027,669	2,997,643	30,026
公園事業	5,536,660	5,117,449	419,211

### 【下水道事業会計】

平成24年度要求総額 49,845,022千円  
 (平成23年度当初予算額 52,310,040千円)  
 前年度比 4.7%  
 平成24年度単年度資金剰余 228,291千円

主な事業 (単位：千円)

事業名	平成24年度 予算要求額 A	平成23年度 当初予算額 B	増減 A - B
浸水対策事業	3,700,000	3,500,000	200,000
地震対策事業	1,050,000	850,000	200,000
合流改善事業	2,300,000	3,650,000	1,350,000

## 平成24年度 建設局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分	H24要求額	H23当初予算	増減額	前年度対比
道路事業	16,879,929	16,270,279	609,650	3.7%
街路事業	10,924,740	10,161,958	762,782	7.5%
道路・街路事業 計	27,804,669	26,432,237	1,372,432	5.2%
河川事業	2,628,782	2,630,023	1,241	0.0%
公園事業	2,588,715	2,269,961	318,754	14.0%
その他	16,500	5,500	11,000	200.0%
投資的経費 計	33,038,666	31,337,721	1,700,945	5.4%
道路事業	1,939,192	1,996,939	57,747	2.9%
河川事業	398,887	367,620	31,267	8.5%
公園事業	2,947,945	2,847,488	100,457	3.5%
その他	745,266	767,174	21,908	2.9%
行政経費 計	6,031,290	5,979,221	52,069	0.9%
一般会計 計	39,069,956	37,316,942	1,753,014	4.7%
うち 道路・街路事業	29,743,861	28,429,176	1,314,685	4.6%
うち 河川事業	3,027,669	2,997,643	30,026	1.0%
うち 公園事業	5,536,660	5,117,449	419,211	8.2%

\* 土木職員費を除く。

## ( 2 ) 平成 2 4 年度建設局経営方針

建設局においては、「元気発進！北九州」プランに掲げる「便利で快適なまち」の実現に向けて取り組んでいくと共に、さらにその上で、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げる政策課題に取り組むこととして、次の5つの方針に基づき、「選択と集中」による効率的な事業の推進に努めてまいります。

- 1 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり
- 2 安全で安心な災害に強いまちづくり
- 3 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化
- 4 生活密着型公共事業の推進
- 5 次世代に引継ぐための施設の適切な維持管理

具体的には、

「1 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり」では、自然エネルギーの活用やLED照明等の推進、自転車通行空間整備による自転車利用の促進、都心・副都心などのまちのにぎわいづくりを進めます。

「2 安全で安心な災害に強いまちづくり」では、平成21年・22年の2年連続の豪雨災害や、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」を踏まえ、災害対策の強化に取り組みます。

「3 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化」では、主要幹線道路の整備を推進します。

「4 生活密着型公共事業の推進」では、市民の声を聞きながら、市民生活に身近な道路・公園の整備を進めます。

「5 次世代に引き継ぐための施設の適切な維持管理」では、施設の長寿命化や市民との協働による施設の適切な維持管理を図ります。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### 1 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり

自然エネルギーの活用やLED照明等の導入、自転車通行空間整備による自転車利用の促進など低炭素型のまちづくりを推進するとともに、都心・副都心など中心市街地での道路・公園・河川の整備によるにぎわいのある快適なまちづくりに取り組みます。また、下水道分野の水ビジネスのアジアへの積極的な展開にも取り組み、緑の成長戦略に資する快適なまちづくりを推進します。

- 2 ・ 新規

#### ☀ 八幡東田グリーングリッド事業 (新規) 680,000 千円

八幡東田地区では、スマートコミュニティ創造事業など、最先端のまちづくりを進めています。

八幡東田グリーングリッド事業では、これにふさわしい質の高い緑を創出し、CO<sub>2</sub>の削減を図ります。

緑のモニュメント、幹線道路の高低木植栽

安全で安心な自転車利用環境、環境配慮型舗装

緑の中心軸となる東田大通り公園での質の高い緑化 など



- 2 ・ 継続

#### ☀ 自転車通行空間の整備 615,000 千円

【うち 100,000 千円は、「八幡東田グリーングリッド事業」(p.3)の再掲】

環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、(歩行者・自転車・自動車の)通行分離による、安全で快適な自転車通行空間の整備を進め、低炭素型のまちづくりを推進します。



☀ **小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進** 1,155,050 千円  
【うち 260,000 千円は、「自転車通行空間整備」(p.3)の再掲】

小倉都心では、小倉駅小倉城口ペDESTリアンデッキに屋根を設置し、太陽光発電や LED 照明等を導入すると共に、環境配慮型舗装等を行ない、環境負荷の低減を図ります。

また、紫川人工の滝ポンプ室の屋上緑化整備を行います。

黒崎副都心では、ペDESTリアンデッキや公園の再整備に合わせて LED 照明等を推進します。

小倉駅・黒崎駅ペDESTリアンデッキ整備  
自転車専用レーン整備、環境配慮型舗装  
公園再整備(岡田公園)、紫川人工の滝ポンプ室緑化整備 など



～小倉駅小倉城口ペDESTリアンデッキイメージ～

☀ **道路照明、公園照明の LED 化等の推進** 802,380 千円  
【うち 72,400 千円は、「八幡東田グリーングリット事業」(p.3)及び  
「小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進」(p.4)の再掲】

低炭素社会の実現に向け、道路照明や街路灯・生活街路灯の LED 化等を推進します。

また、公園照明は、再整備する公園や新設公園を中心に、LED 化等を図ります。



☀ **中心市街地の道路整備の推進** 4,873,500 千円  
【うち 739,000 千円は、「小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進」  
(p.4)の再掲】

小倉都心部 砂津長浜線、国道 199 号(砂津バイパス)、紫川東線 など  
黒崎副都心 黒崎駅ペDESTリアンデッキ、中央町穴生線 など

## ☀️ 浄化センターでの環境負荷低減への取り組み

217,000 千円

浄化センターにおいて、太陽光発電設備の設置や、老朽化した照明設備の改築更新に伴う LED 照明等の導入を行います。

また、日明浄化センターの汚泥乾燥施設の改築更新に伴い、汚泥燃料化施設の整備を行い、更なる環境負荷の低減に向けて取り組みます。

太陽光発電設備	新町浄化センター、北湊浄化センター
LED 照明等設備	北湊浄化センター他 12 ポンプ場
下水汚泥燃料化事業	日明浄化センター（H24～27 年）



～ 太陽光発電設備のイメージ（左：新町浄化センター 右：北湊浄化センター）～

## ☀️ 海外水ビジネスの推進

74,249 千円

アジアの旺盛なインフラ需要と高い経済成長を本市の成長と地元経済の活性化につなげるため、官民の技術やノウハウを結集し、水ビジネスの海外展開を推進します。

- 北九州市海外水ビジネス推進協議会の活動  
（案件形成や情報発信など）
- ウォータープラザ北九州の活用  
（実証研究、技術研究など）
- 北九州ウォーターハブの整備
- 国際技術交流の推進 など



～ 平成 23 年 4 月 中国大连市と覚書締結～

- 1 ・ 継続



～ 到津の森公園学習プログラム～

☀ 環境学習の推進 19,483 千円

「到津の森公園」「水環境館」「ほたる館」「板櫃川“水辺の楽校”」の4施設の連携による環境学習や、「長野緑地」の農業体験、紫川水先案内人育成事業などを推進します。

- 1 ・ 新規

☀ 美しい街なか景観の創出

(新規) 155,138 千円

環境未来都市にふさわしい花や緑の街並み形成のため、市街地の駅前等や観光地、イベント開催地周辺を花で彩ることで、本市の魅力向上を図ります。あわせて、街なかのクリーンアップも重点的に実施することで、美しい街並みを創出します。



～ 小倉駅小倉城口周辺(平和通り)～

- 2 ・ 新規

☀ 北九州市民球場の観覧席改修

(新規) 130,000 千円

プロ野球や高校野球などが開催される北九州市民球場において、観覧席の改修を行い、快適に観戦できるよう改善を図ります。



～ 現状の市民球場外野席～

- 4・新規

### ☀ 到津の森公園 10 周年記念事業

開園 10 周年を祝う記念事業を実施するとともに、これを契機に、園の魅力、園の意義や役割を伝え、来園者数や民間支援（サポーター、寄付金）の増加を目指します。

（新規） 20,000 千円



～ 到津の森 10 周年記念式典イメージ

- 3・新規

### ☀ 市制 50 周年記念「(仮)北九州の土木」製作（新規） 5,093 千円

『ドボク』に対する関心の高まりや『市制 50 周年』という節目を契機に、土木施設のガイド本「(仮)北九州の土木」を製作し、北九州市の土木行政の PR を行うことで、市民の公共事業への理解関心を高めると共に、観光素材や学習素材としての活用を促し、北九州市の活性化を図ります。

- 4・継続

### ☀ 市西部地区（香月・黒川地区）ホタル保護活動拠点の支援

80,000 千円

市内で最も多くのホタルが飛翔し、河川清掃などホタル保護活動が盛んな香月・黒川地区において、地域の活動を支援する施設を整備します。



～ 黒川の清掃活動～

## 2 安全で安心な災害に強いまちづくり

平成21年、22年の2年連続の豪雨災害や平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」を踏まえ、災害に強いまちを目指した河川や下水道施設・道路の整備など、安全で安心できる災害に強いまちづくりを推進します。

- 1 ・ 継続

### ☀ 水害から市民を守る緊急整備事業

3,388,110 千円



平成21年7月、平成22年7月の豪雨による浸水被害を受け、従来からの事業に加え、平成22年度から『水害から市民を守る緊急整備事業』に新たに着手して、5年間で河川・下水道の緊急整備を集中的に取り組んでいます。

～平成21年7月豪雨の状況～

河川：紫川、相割川、笹尾川、金剛川、東谷川、母原川、新道寺川  
下水道：徳吉地区、沼本町地区、本町地区 など

- 1 ・ 継続

### ☀ 浸水対策事業の推進

2,766,385 千円

浸水のない安全で安心なまちづくりを目指し、計画的な河川整備や下水道整備を着実に推進します。

河川改修 撥川、江川、板櫃川、金山川、神嶽川 など  
雨水整備 門司駅周辺地区 など

- 1 ・ 継続

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

865,000 千円

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強などを実施します。



- 1 ・ 継続

☀ 下水道の地震対策の推進

1,050,000 千円

地震時においても下水道の機能を確保するための耐震化を推進します。

### 3 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

アジアなど国内外での本市産業の競争力強化や企業誘致を促進するため、物流拠点間のアクセスを強化し、広域的なネットワークの形成を図ります。また、地域間の連携を促進し、市民の交通利便性の向上等に資する道路ネットワークの整備を推進します。

- 2 ・ 継続

#### ✪ 主要幹線道路の整備

10,389,000 千円

【うち 2,205,000 千円は、「中心市街地の道路整備の推進」(p.4)の再掲】

新若戸道路、戸畑枝光線、国道 3 号黒崎バイパス、尾倉ランプ(戸畑大谷線)、国道 199 号砂津バイパス、国道 211 号、中原戸畑 1 号線、恒見朽網線、砂津長浜線、都市計画道路 9 号線(熊谷～高野) など



～新若戸道路イメージ～

## 4 生活密着型公共事業の推進

市民の声を聞きながら、市民生活に身近な道路や公園整備などの生活密着型公共事業を推進します。

- 1 ・ 継続

### ☀ バリアフリーのまちづくりの推進

1,644,050 千円

すべての人々が安全・安心で快適に暮らせる生活空間づくりを目指すために、歩道や公園などのバリアフリー化(段差の解消、手すり設置、エレベーター設置など)を推進します。



- 1 ・ 継続

### ☀ 暮らしに身近な歩行空間整備事業

200,000 千円

地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路において、緊急で即効性のある維持補修や歩道整備など、幅広く事業を展開し、地域の安全安心な歩行空間づくりを推進します。

- 2 ・ 継続

### ☀ 健康づくりを支援する公園整備事業

22,500 千円

市民に好評な健康遊具を、医学・運動学の観点から開発したり、効果的に配置することで、高齢者が日常的に健康づくりを行える公園整備を行います。

継続的な健康づくりを促すための、『公園での健康づくり教室』など、普及啓発のソフト事業は保健福祉局で行います。



～公園を活用した健康づくりイメージ～

## ☀ 地域に役立つ公園づくり事業

240,000 千円

小学校区を基本に既存の公園の再整備について、幅広く地域の意見を聞きながら公園の計画づくりを行い、地域住民と協働して、地域ニーズにあった公園へと改修します。



～ワークショップ状況写真～

## 5 次世代に引き継ぐための施設の適切な維持管理

都市基盤であり、市民共有の財産である公共施設を次世代に確実に引き継いでいくため、市民との協働を進めながら、適切な維持管理を推進します。

- 3 ・ 継続

### ☀ 橋梁長寿命化事業

2,144,870 千円

【うち 865,000 千円は、「災害時における緊急輸送道路の確保」(p.9)の再掲】

今後 100 年間の長期展望に立ち、効率的・効果的に管理するアセットマネジメントの考え方を取り入れ、定期的な点検の結果を基に橋梁の状態に応じた計画的な保守工事を行うなど、橋梁を長持ちさせる予防保全型の維持管理を推進します。



- 3 ・ 継続

### ☀ 公園施設の長寿命化への計画的な取り組み

30,000 千円

公園施設の維持管理において、効果的・効率的に管理するアセットマネジメントの考え方を取り入れ、公園施設の長寿命化及びライフサイクルコスト( )の最小化のための計画を策定します。

( ) 新設から維持管理までに要する生涯費用

- 3 ・ 継続

☀ 道路サポーター事業 20,000 千円

道路の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民と協働による道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



「道路サポーター活動状況」

- 3 ・ 継続

☀ 河川愛護団体補助事業 250 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による河川環境の保全に努めます。



「河川愛護団体活動状況」

- 3 ・ 継続

☀ 公園愛護会補助事業 6,434 千円

公園の除草や清掃、花壇づくりなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による美しい公園づくりに努めます。あわせて、新たなコミュニティ活動の場として、公園の一部を菜園などにも活用する取り組みを推進します。



「公園愛護会活動状況」

### 3 事務事業の見直し等（主なもの）

#### （１）行政評価による見直し

##### 海外水ビジネスの推進

海外水ビジネスは、「緑の成長戦略」や「グリーンアジア国際戦略総合特区」構想の重要な柱の一つです。そこで、官民連携の「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、本市と太いパイプをもつアジア諸都市へセールスプロモーションを展開するとともに、水ビジネスの国際戦略拠点「北九州ウォーターハブ」の整備を行うなど、海外水ビジネスを積極的に推進するため、さらなる事業の拡大を図ります。

#### （２）その他の見直し

##### 樹木の育成管理の見直し（見直し効果 14,000 千円）

公園の樹木について、健全育成や安全確保のために支障となる老木等を計画的に整理することにより、長期的な管理の縮減を図ります。

##### 不法占用物件除却業務委託の見直し （見直し効果 1,504 千円）

これまで実施してきた不法占用に対する是正指導及び啓発活動の成果により、放置自動車等の道路上に放棄された物件が減少してきたことを踏まえ、委託料を削減する。